

平成29年度

学校評価計画



徳島県立徳島北高等学校

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に格別の御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の学校評価計画を作成しましたので御覧ください。これは、「学校経営の基本方針」及び「本年度の重点目標」に沿って各担当がそれぞれの分野において計画を立てたものの抜粋です。本年度も、この計画に従って全教職員が協働して教育活動に取り組んでまいります。また、年度末にはその取り組みについての評価を行い、結果については公表する予定です。

なお、評価の作成につきましては、アンケート調査などを通じて保護者の皆様の御意見をお聞かせいただこうと考えていますので、御協力くださいますようお願いいたします。

平成29年5月20日

徳島県立徳島北高等学校長

- 「学校評価」とは -

各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、めざすべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることをねらいとするものです。

- 「学校経営の基本方針」 -

生徒がはつらつと活動する活力ある学校づくりと保護者・地域社会から信頼される学校づくりに取り組む、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を身に付けることができる教育の実現に努める。

- 「本年度の重点目標」 -

- (1) 自ら学ぶ姿勢と自主的・自律的な行動力を育成する。
- (2) 人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築かせる。
- (3) 授業の工夫・改善と充実に努め、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 生徒一人一人の個性や創造性を伸ばさせて、進路希望の実現をめざす。
- (5) 国際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

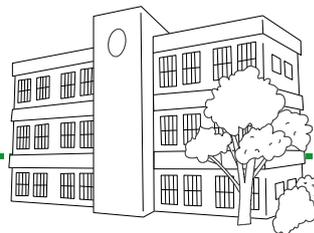
生活習慣・交通安全指導

- (目標)** ① 生活習慣(服装頭髪の整正, 時間厳守, 挨拶の励行)の確立, 健全な生活態度の育成
② 交通ルールの遵守, 交通安全意識の向上
③ 携帯電話等の安全な使い方ができるなど情報モラルの育成
- (主な方策)** ① 月初めのクラス単位の服装頭髪点検, 学期初めの学年一斉指導を実施するとともに, 全職員による常時指導を徹底する。
② 遅刻指導週間を実施するとともに, 多遅刻生徒への指導を徹底する。
③ 職員による登校指導や生活委員会を中心とした「あいさつ運動」を充実させる。
④ 生徒の交通事故の状況について職員間で共通理解を図り, 生徒の交通安全意識の向上に努める。
⑤ 「人権教育ホームルーム活動」や「情報」の授業と連携した情報モラル教育を推進する。
- (数値目標)** ① 服装頭髪の再点検指導生徒0.5%以内
② 遅刻者数前年度比 10%減
③ 登校指導月1回以上, 「あいさつ運動」学期1回以上実施
④ 交通事故件数 前年度(11件)以下
⑤ 各関係機関と連携し携帯電話安全教室を年1回以上実施



学力向上

- (目標)** ① 主体的な学習習慣の確立
② 確かな学力の育成
- (主な方策)** ① 進路説明会等で, 家庭学習の現状とその効果について説明し, 保護者に協力を要請する。
② 生活学習記録表や生活実態調査を通して生徒一人一人の実態の把握に努めるとともに, 保護者との連携を図る。
③ 課題や確認テストを適宜実施し, 授業内容の理解, 定着を図る。
④ 補習の大切さを理解させ, 補習の出席率を高める。
- (数値目標)** ① 家庭学習時間(塾等での学習を含む)1時間以上の生徒75%以上, 「(学年)+1」時間以上の生徒50%以上
② 「午後9時までに家庭学習を始める」習慣が身についている生徒70%以上
③ 授業評価アンケートにおいて, 「学校の授業内容をよく理解している」生徒80%以上
④ 1, 2年生の補習出席率95%以上



進路指導・キャリア教育

- (目標)** ① 主体的な進路決定・進路目標の設定をめざしたキャリア教育の推進
② 生徒の個性や創造力を伸長させることによる進路希望の実現
③ 地域社会に貢献できる人材の育成に向けたキャリア教育の推進・自主的な行動力の育成
- (主な方策)** ① あらゆる機会を通じて, 将来の自分の生き方について考えさせるとともに, 体験活動の広報に努める。
② 「若楠」や「進路ニュース」を活用し, 生徒や保護者への進路情報の提供を適切に行い進路意識の高揚を図る。
③ 就職ガイダンスや公務員セミナーなどの実施を通して, 就きたい職業を見出し, その実現に継続的に努力できる行動力を育成する。
- (数値目標)** ① 1, 2年次にオープンキャンパス等の体験活動に1回以上参加した割合80%以上
② 2年生の11月末進路希望調査で, 進路目標が明確になっていると回答した生徒の割合90%以上
③ 就職希望者の就職未決定者数ゼロ(2学期末)

心とからだの健康

- (目標)** ① 心やからだの健康についての関心の向上と、課題解決に向けた実践力の育成
② 生徒が心身ともに充実した学校生活を送れるための支援の充実
③ 公共物をマナーを守って利用できるなどの公共心の育成
④ 福祉的な募金活動への協力
- (主な方策)** ① 生徒保健委員会の活動を通して保健意識の啓発・向上を図る。
② 生徒に関する職員の共通理解を高めるとともに、関係機関とも連携を密にする。
③ 公共心向上のための広報活動を推進するとともに、チェック体制を整える。
④ 厚生委員会活動の充実を図る。
- (数値目標)** ① 「自分の心や健康に関心を持ち、健康な生活を心がけている」生徒の割合80%以上
② 「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について「あてはまる」と答えた生徒・保護者ともに80%以上
③ セミナーハウスについて、適正に利用できたとの回答割合を90%以上とする
④ 福祉的な募金活動への協力年2回以上



環境・防災教育

- (目標)** ① 学校内外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力の育成
② 身近に潜む危険から自らの身を守るのみならず、災害発生時及び事後に進んで他の人々や地域の安全に役立つ人材の育成
- (主な方策)** ① 日々の清掃活動を充実させるとともに、清掃ボランティア活動を積極的に実施する。
② 避難訓練・防災訓練を実施することにより、防災に対する実践力と行動力を高める。
③ 講演会や防災学習を通じて、学校全体としての防災意識の向上を図る。
- (数値目標)** ① 清掃ボランティア活動 学期1回以上実施
② 清掃行き届いていると実感する生徒の割合80%以上
③ 地震津波避難訓練・火災避難訓練・水難事故防止講演会 年1回実施



国際理解教育

- (目標)** ① 国際交流に積極的に取り組むことで、外国のことに興味・関心を持つ生徒の育成
② 異文化の中で生活できる機会の提供
③ 海外姉妹校との活発な交流
- (主な方策)** ① 外国人の外部講師等を活用し、異文化講演会を実施する。
② 外国からの訪問団を積極的に受け入れるとともに、派遣プログラムなどの情報提供に努める。
③ Eメールやスカイプ等を用いた姉妹校交流を充実させる。
- (数値目標)** ① 異文化学習の機会を年2回以上提供
② 海外語学研修参加者80名以上
③ ニュージーランド・ドイツ・タイ姉妹校とのEメールなどを用いたグループ交流を1回以上実施

人権教育

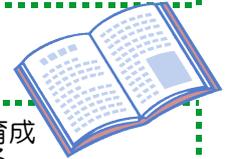
- (目標)** ① 日々の教育活動を通じた生徒の人権意識の高揚
② 人権教育の充実を図り、全職員で取り組むいじめ防止
③ 研修機会の充実による職員人権意識の啓発・高揚
- (主な方策)** ① 生徒が主体的に参加・体験できるホームルーム活動（人権）を実施する。
② 教育活動全体を通じて、互いの人格を尊重し合える校内環境を整える。
③ 校外人権研修会への参加者を拡充させ、校内人権研修会（講演会等）を充実させる。
- (数値目標)** ① ホームルーム活動（人権）において、「人権意識が高まった」生徒の割合 80%以上
② 「人権委員会だより」を年6回以上発行し、読んでいる生徒の割合60%以上
③ 「ホームルーム活動や教科指導において、人権課題についての実践ができた」と答えた職員の割合90%以上

学校行事・生徒会活動・部活動

- (目標)** ① 学校行事（学校祭・球技大会等）の活性化を通じた自主的・自律的な行動力の育成
② クラスや部活動だけでない幅広い人間関係の構築
③ 部活動の活性化を通じた個性・創造性の伸長と、何事にも前向きに取り組む能力や態度の育成
④ 国際的な視野を広げ、社会に貢献する姿勢の育成
- (主な方策)** ① 生徒会役員が中心となり、全校生徒が各行事の企画・運営に取り組めるようにする。
② 学校行事の事前・事後にアンケートを実施し、今後の取り組みに生かす。
③ 新入生対象の部活動紹介を充実させる。各部活動で自主的な活動ができるよう工夫する。
④ 国際的視野の広がりにつながる講演会や社会貢献に通じる活動を計画する。
- (数値目標)** ① 「学校行事に自主的・積極的に取り組むことができた」と答えた生徒の割合90%以上
② 「生徒は望ましい人間関係が構築できている」と答えた職員・保護者の割合 85%以上
③ 「部活動は学校生活を充実させるものとなっている」と答えた生徒の割合80%以上
④ 地球市民講座（講演会）を実施するとともに、社会貢献活動を年3回以上実施

読書啓発

- (目標)** 図書館利用を通して、読書習慣の育成を図ることによる主体的に学ぶ生徒の育成
- (主な方策)** ① 進路選択に必要な図書を充実させ、「図書館だより」や壁面掲示で広報する。
② 各教科と連携して授業に活用したい本や生徒に読ませたい本を充実させ、図書館利用の推進を図る。
③ 図書館の利用状況、貸出状況を適宜知らせる。
- (数値目標)** ① 1人あたりの年間利用回数を昨年度より0.5回以上増。
② 授業での利用を昨年度より5回以上増。
③ 1人あたりの貸出冊数を0.5冊以上増。



「学校評価」今後の予定

5月20日（土）	PTA 総会で、今年度の評価計画を説明
5月下旬	ホームルーム活動で、生徒に今年度の評価計画を説明
6月下旬～7月上旬	第1回授業評価アンケート
12月上旬	第2回授業評価アンケート・学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員）
1月下旬～2月上旬	学校評価結果作成
2月下旬	学校評価結果公表（リーフレット・ホームページ）



徳島北高校
イメージキャラクター
はっぱちゃん

このリーフレットに対するお問合せ

徳島北高等学校 学校評価委員会

〒771-1153 徳島市応神町吉成字中ノ瀬40-6 電話 088-698-8004